

月刊びゃっきープレス

2007

12 月号

毎月初回ライブ日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟  
http://www.satram.jp/byacky/  
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

無料配布

↑あたりまえ



役にたたない偏重サイト  
情報がグレードダウン!!

アクセス不要  
http://www.satram.jp/  
info@satram.jp

byacky press



ギターで弾き語りをするびゃっきー (ネクストサンデーにて)

# 再掲

# 初心者によるギター講座

ライブボイスで好評を博した「初心者による初心者のための初心者ギター講座」をここに再掲することが決定した。初心者のうちでなければ言えない珠玉の初心者訓を、このまま埋もれたままにしてしまうのは社会の損失であると、誰かが言ったかもしれないし、ただびゃっきープレスのネタがなかっただけかもしれない、そんな初心者講座をここに再掲する。

# さあ始めよう

**初心者心得その1**  
「ギターはアコギがクラシックギターを選択せよ」  
まず、ギターの選択だ。よくエレキギターが弦を押さえずにという理由で初心者に向いているという話を聞くが、これは間違いだ。エレキはアンプとピックがセットの楽器なので、バンドをやるうという場合はいいが、ちよつとギターを弾いてみたいという場合に、アンプがセットなのはとても億劫だ。ピックも同様ののだが、それについては次の心得に譲ることにする。

**初心者心得その2**  
「指弾きせよ」  
ピックというのが割にも扱いづらいというのがギターをやめてしまう原因の一つだ。指弾きだと道具を扱わなくて良い分、コントロールしやすい。また、出鱈目に弾いても、適度に和音が分散して、コードを変えなくても結構間が持つ。左手をあまり変えなくて済むのは初心者にとって朗報だ。

**初心者心得その3**  
「Fを弾くな」  
「F」が押さえられなくて挫折したという話をよく聞く。それは半分は言い訳だと思われが、半分は本当のことなんだろうと思う。それならば「F」を押さえない方がいいと思わなければならない。「F」の出でこない曲を作るか、探すかして、出て来そうなら別のコードで代用するなりすればいい。とにかく「F」と関わるな、時間の無駄だ。

**初心者心得その4**  
「思いついたことは全部やれ」  
初心者だからと言って、きちんとしたストロークができるまでそればかりやるとか、そんな必要はない。それだとすぐに飽きてしまう。人のギターを見て、自分の演奏に取り入れたい曲があったら、全部やれ。初心者には2、3種類弾き方を思い浮かべ、それ以上思い浮かばなくなったりして、もうこれ以上弾き方はギターにはないのではないかと勘違いしたりする。そんなときギターのうまい友達がいると、目の前で嬉しくてくれる。色々なタイプのギターリストと友達になるともつとよい。自分の一生ではきつとやり尽くせないだろう可能性が目の前に繰り広げられる。ここで注意だが、決してレクチャラーを求めはならない。そうすると途端に自分の手の届く範囲の、つまらない世界に引き戻される。いろいろ見せてもらって、家に帰ってからコツと試してみればいいのだ。

**初心者心得その5**  
「うまい人と友達になれ」  
いかがだろうか。これを読んでギターを手にとってくれる人が一人でもいれば幸いである。  
(びゃっきー)

ライブボイスで好評を博した「初心者による初心者のための初心者ギター講座」をここに再掲することが決定した。初心者のうちでなければ言えない珠玉の初心者訓を、このまま埋もれたままにしてしまうのは社会の損失であると、誰かが言ったかもしれないし、ただびゃっきープレスのネタがなかっただけかもしれない、そんな初心者講座をここに再掲する。

たくなつたら、とりあえず取り入れてみることも。やってみるのももちろん出来ないが、似たことはできるかもしれない。また、その曲に合わないとしても、前奏に入れてしまっても、奏に入れて後編に入るとか、いろいろ取り入れると、それがギターをやりたいという求心力に繋がるのだ。それにギターは叩くだけでもいい音がする魔法の楽器である。やることになければいろんなどころを叩いてみるという。途中でギターを叩く、その一瞬のために一曲演奏する、そんな曲があってもいい。

て、もうこれ以上の弾き方はギターにはないのではないかと勘違いしたりする。そんなときギターのうまい友達がいると、目の前で嬉しくてくれる。色々なタイプのギターリストと友達になるともつとよい。自分の一生ではきつとやり尽くせないだろう可能性が目の前に繰り広げられる。ここで注意だが、決してレクチャラーを求めはならない。そうすると途端に自分の手の届く範囲の、つまらない世界に引き戻される。いろいろ見せてもらって、家に帰ってからコツと試してみればいいのだ。



PIYOCHAN はギターとは全く関係ない。